

# 梅窓院通信

No.86  
2017/01/01

# 青山

## 第7回 秋彼岸写真展 優秀賞受賞作品

### テーマ 自然 「RAIKOU MOUNT FUJI 2016」 撮影:



平成二十八年は富士山に登るとご利益があるとされる「庚申御縁年」の年。頂上からのご来光の一枚です。

風を浴びる父親を写しました。何を見つめ、何を想うのか。



### 「my father」撮影:

### テーマ 家族

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成



新年明けましておめでとございます。平成も二十九回目を迎える年の初春、皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと、心よりお喜び申し上げます。

本年も表紙を昨年の秋彼岸写真展の優秀賞受賞作品が飾っています。多くのご応募をいただき、ありがとうございます。また、今回は動物部門で得票数が同じ作品が複数となり、一作品を選ぶことができなかったことをお詫び致します。少し気が早いですが、今秋の写真展にも多くの方のご応募をお待ちしています。

さて、昨今のお墓や葬儀へのニーズの変化には驚くものがあります。墓地の小型化、ロッカー化、自動搬送墓苑、宅配納骨、家族葬、散骨葬、樹木葬……。梅窓院もこうした変化に無理なく対応してきていますが、この度、樹木葬を取り入れることに致しました。

旧本堂の相輪前の一面に梅の木を植えての樹木葬で、今春から始める予定です。仮称は「梅林苑」で、詳細は改めてお知らせ致します。なお、このためにお墓を移転いただいたお檀家様には、ご理解ご協力をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。また、墓苑内の完全バリアフリー化も行う予定です。詳しくは八面をご覧ください。

さて、今号の梅窓院を囲む人々には三期目を迎えている岐阜県郡上市の市長にご登場いただきました。市長とのお付き合いは長いのですが、市長が自治省からいくつかの地方行政を担当、そして岐阜県庁から郡上市長になられたと初めて伺い、平成の大合併後の郡上市の見事なりーダーシップに納得がいった次第です。春の彼岸には郡上の物産展が、そして『青山』の春彼岸号では冬の郡上を特集する予定です。どうぞ、ご期待下さい。

### テーマ 旅行 「錦秋の京都・東福寺」

撮影: 通天橋から望む紅葉の素晴しかったこと

読経始めと読書始め

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦

仏前でのお勤めも、新年最初の初勤行・初読経は、ことさら

に莊重にして厳肅である。全国各寺院の読経や回向の儀式のありさまは、さまざま形式や仕方、あるいは規模の大小の差はあるが、いずれも引き締まった緊張の中におごそかな肅気もゆかしく、新年をことほぐ改まった勤行である。

当然のことながら、一般の家庭でも各家各人の暮らし方に合わせたお仏壇での初灯明、初合掌の作法があつて、今は亡き精霊の位牌を拜して回向の思いを深く捧げ、そして新しい一年の無事平安をひたすらに祈り、明るい一年の希望祈願を託すのである。

季語欄を見ると、初御堂・初開扉・初太鼓・初鐘・初灯・初法座・初提唱・年始会などの語が列記されている。また、初経・初調経・経の読初・読経始めの言葉もあり、初法衣・初木魚等、法衣・仏具などに「初」の文字を加えて、初勤行の信心の姿を写し取って季語としている。

元来、新年正月の法会を修正会という。ちなみに、修二会・修二月会といえは二月を営まれる法会で、これはインド起源では二月を最初の月とする伝えによつたものである。

初経のもろ手も凍つる未明かな (浜人)

原田浜人は、「ホトトギス」の選者でもあつた虚子門の人であるが、客観写生に對しては独自の考えを持つていて、後年虚子のもとを離れた。私は、この句に示される厳寒暁間の合掌の姿に、浜人の孤高を見る思いがする。

御燈明黄色黄光初勤行 (小丘)

この句の作者である藤枝小丘については、あいにく寡聞にして私は知らない。しかし「黄色黄光」の『阿弥陀經』の一句をもつて強く印象づけられ、漢字十文字の一字一字に託して、「南無阿弥陀仏」の十念の心を受けとめている私である。

さて初読経・経の読初を、経文の読経始めから、仏典を読む、仏書に親しむ読書始めに置き換えて、新春松の内心の修養、年始の初静養といはしたらいかがであらうか。もとより仏典仏書にかぎるものではない。洋の東西を問わず、古典の宝库に親しむのもよい。小説・詩歌・随筆をはじめとする芸文書から自然科学書や学術専門書まで、なんでもよいのである。いわゆる読初であり、昔は初草子・草子の読初などといった。

貞享五年(一六八八)刊の貝原好古編録『日本歳時記』の元日の項には、「常に経史を業とし、あるいは定まりたる勤めある人は、今日より始むべし。礼服を着てその初めを正しくすべし。一年の全功を用ひんとならば一日も欠くべからず」と記されている。威儀を正しての読書始めは、一日として怠りのない継続が大切で、それでこそ完全なる成果であり、十分な努力ということにならうというわけである。

読初の序文おろそかならざりし (秋津)

序文の一字一句は、その書物の概要を闡明にする旗標でもある。相生垣秋津は、「馬酔木」系の俳人として名高い相生垣瓜人の実兄である。

心経に不の字無の字や誦みはじむ (不死男)

漢訳二七六文字の『般若心経』のまさに読経始めである。秋元不死男は新興俳句の論客であったが、戦後は山口誓子の「天狼」に参加した。

ここに改めて私は、新しい一年の計を「読書百遍」「読書万巻」、いや「読書一生」と記したい。

(大正大学前学長)

九・十・十一月の

行事報告

秋彼岸会法要

彼岸寄席 9月22日(木)



秋彼岸寄席、三遊亭歌る多師匠

第69回

念仏と法話の会 10月5日(水)



文化講演会 10月15日(土)

「日本と中国は仲良くできるか 一両国関係の将来を考える」 西園寺一晃氏

十夜法要・芋煮会 11月19日(土)



M・ファン・デン・フック ピアノリサイタル 11月26日(土)



# 修正会

しゆしようえ

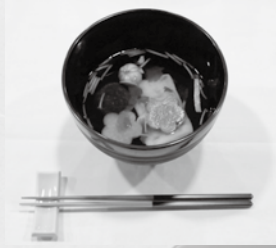
## 2017年1月1日(日)

### 修正会法要

午前9時半～ 2階 本堂

### お雑煮

午前11時～ 1階 観音堂エントランス



※時間は変更となる可能性もございますので、ご了承下さい。

※お雑煮の振る舞いは元旦のみになります。修正会に参列いただいた方から優先的にお雑煮の振舞いをさせていただきます。なお、数に限りがございますので予めご了承ください。

(絵馬について)

新年のお参りに来ていただいた方にお配りしている絵馬は、元旦のみ1軒に1体のお渡しとさせていただきます。2体以上ご希望の方は事前に文書(FAXかハガキ)でお申し付け下さい。2体目から1体千円でお譲り致します。

(曆について)

各檀家さまに1部同封させていただきました。2部以上ご希望の方はこちらも文書(FAXかハガキ)にてお申込み下さい。2部目から1部千円でお譲り致します。

新年によせて(修正会によせて)

正月元旦に、お寺では社会の平和と人々の幸福を祈つて、法要を修します。これを修正会といひます。新たな年を迎えるに当たり、前年の良いことも悪いことも、南無阿彌陀仏のお念仏をと念える事によつて、信仰の糧へと変化させる(修正する)法会です。

修正会では、僧侶とご参列のお檀家さんともどもに、自分の事だけではなく、私たちのお念仏が、あまねく一切に届くような心持ちでお念仏をお唱え致します。

願わくはこの功德を以てあまねく一切に施し同じく菩提心をおこして安楽国に往生せん

(総回向偈)

(どうか、この(お念仏の)功德をすべての人々に平等にほどこし、(それによつて私たち皆が)ともどもに菩提心(ほだいしん)悟りを求める心)をおこして、安楽国(=極楽浄土)に往生できますように)

蓮の華は、決して美しいとは言えない泥の中から成長し、その泥に染まることなく、大輪の華を咲かせます。

私たちも、過去のあらゆるあやまちを阿彌陀様の光明に照らしていただき、この苦しみの世界にありながらも、その苦しみに染まることのない美しい信仰の華を咲かせていくことが大切なのではないでしょうか。

今年も無事新年を迎えられたことを感謝し、この年すこやかに過(こ)せるよう、元旦には家そろつて菩提寺のご本尊さまに初参りし、併せてご先祖さまのお墓にもお参りを致しましょう。

一心に手を合わせるその姿を阿彌陀様もきくと優しく見守つて下さいます。

(法務部)

# 線沿線 「守」特集



「**ことを楽しみにしております。**  
**ご挨拶を済ませて、**  
**スポットのおすすめ「御守」特集です。**

- 新橋駅
- 虎ノ門駅
- 溜池山王駅
- 外苑前駅
- 渋谷駅

3番出口より徒歩3分。出口を出て左へ。約130メートル進むと、興銀リースビルの合間に神社が見えてきます。



ことひらぐら **金刀比羅宮** 神社

金刀比羅宮は万治3年(1660)に、香川にある金毘羅宮(本宮)から御分霊を勧請、遷座し、江戸後期には江戸市民の熱烈なる要請に応え、毎月10日に限り邸内(社の内部)を開き、参拝を許可されました。入口には銅鳥居があり、左右の柱には四神(青龍、朱雀、白虎、玄武)の彫刻が施されています。社務所がビルの1階部分にあり、虎ノ門という東京を代表するビジネス街に溶け込んでいる特別な神社です。

虎ノ門駅

## 仕事御守

— 仕事成就 —



## 合格御守

— 学業成就 —

渋谷駅



12番出口より徒歩8分。首都高速に沿って進み、ポッシュビル渋谷を右手に曲がると神社の木々が見えてきます。



こんの **金王八幡宮** 神社

第73代堀河天皇の寛治6年(1092)に鎮座しました。河崎重家が禁裏の賊を退治したことにより堀河天皇から渋谷の姓を賜り、この八幡宮を氏族の鎮守と崇め、宮を中心に館を構え居城としました。これが渋谷の発祥ともいわれています。展示室には神輿などが展示されていて、無料で拝観することができます。また繁華街渋谷とは思えないほど緑が深く、散歩にも最適です。

外苑前駅

1b出口を出てすぐの竹林の参道をお入り下さい。



表面

## 梅窓院御守

— 厄除開運・福智円満 —



裏面

長青山 寶樹寺 梅窓院 寺

みなさんの菩提寺の梅窓院。外苑前駅の目の前にたたずむ竹林の参道は都会の喧噪を忘れさせる癒しの空間です。寛永20年(1643)に徳川家康公以来の家臣であった青山幸成公が逝去された際に建立され、寺号は青山幸成公と側室の法名から長青山 寶樹寺 梅窓院と名付けられました。梅窓院のお守りは旧本堂の柱だった檜を生地とし、輪島塗の純金の蒔絵を施した特製品で、ご利益は厄除開運と福智円満。梅窓院の受付でお授けしていますので新年の始まりとともにぜひ身につけてはいかがでしょうか。

溜池山王駅



ひえ **日枝神社** 神社

日枝神社は鎌倉時代初頭に秩父重継が山王宮を祀ったことに始まり、文明年間(1469-86)に太田道灌が江戸城築城にあたり川越山王社を勧請、さらに天正18年(1590)に徳川家康公が江戸城を居城とするや城内紅葉山の地に移し、新社殿を造営しました。こうした歴史から、宝物殿には家康の朱印状と国宝となっている太刀などが展示され、誰でも拝観することができます。

## 病氣平癒御守

— 必勝祈願(こころ守)・病氣平癒(病氣平癒御守) —



7番出口より徒歩6分。出口から出て右手の外堀通りを進むと、右手に灰色の大きな鳥居が見えてきます。社殿までの参道にはエスカレーターが設置されていて、お参りがしやすい神社となっています。

# 新年特別企画 銀座

## おすすめ「御」

「新年、あけましておめでとうございます  
 このご挨拶を皆様と梅窓院で交わせる  
 今号は、菩提寺でご先祖様への新年の  
 銀座線に乗って気軽に立ち寄れる初詣

東京メトロ銀座線



いまだ  
**今戸神社** 神社

今戸神社は康平6年(1063)に源頼義・義家親子が、京都の石清水八幡を勧請したもの。『古事記』に登場する夫婦の神様である伊弉諾尊と伊弉冉尊が祀られていることから、縁結びで有名になり、婚活のパワースポットとして今人気を集めています。また、「招き猫」発祥の地ともあり、境内ではたくさんの招き猫が迎えてくれます。この招き猫、縁結びを強調としたオス・メス一対の「良縁招き猫」が特徴的です。

5番出口より徒歩15分。江戸通りを言問橋西方面にまっすぐ向かい、その交差点をセブンスイープのある方面に進みます。2つ目の信号を右に曲がり、道なりに進みます。東京都立浅草高等学校が左手に見え、その向かいに神社があります。



縁結び  
**縁結御守**

浅草駅

上野駅

琵琶御守  
 諸芸上達

しのぼすのいけ べん てん どう  
**不忍池弁天堂** 神社

寛永2年(1625)に江戸幕府は西の比叡山延暦寺に対し、江戸上野に東叡山寛永寺を建立。その開山である天海が、下館城主の水谷勝隆に不忍池を琵琶湖に浮かぶ竹生島に模させて小島を築かせ、弁財天を祀る「弁天堂」を建立しました。当初は離れ小島の為、船を渡って行き来していましたが、誰でも気軽に足を運べるようにと石橋が架けられました。琵琶を弾く優美な姿で知られている弁財天は芸術、音楽、技芸の神として有名です。

A6出口より徒歩1分。出口を出て右折した先の左側に神社があります。都会のビル街に堂々と立つ、立派な赤い鳥居が目印。



ふくとく  
**福德神社** 神社

貞観年間(859-876)には既に鎮座していた福德神社。武蔵野にかつて存在していた福都村の稻荷神社として祀られ、その地名をとって社号としました。別名は『芽吹き神社』で、徳川二代将軍秀忠公が参拝した際にクヌギの皮が付いていた鳥居に春の若芽の萌え出でたのをご覧になりその名を名付けたのが、その由来。江戸時代に富くじの発行を許された数少ない社寺の一社であり、宝くじのパワースポットとしても人気を集めています。



富くじ・宝袋  
 金運・くじ運

三越前駅



交通安全  
**交通安全守**

新橋駅



烏森口より徒歩8分。平成27年に全区間の工事が終了した環状二号线、別名マッカーサー通りと国道15号線の交差点角に鎮座しています。新橋駅から国道15号線に出て、浜松町方面に100メートル歩くと、左手に見える立派な鳥居が目印です。

ひびや  
**日比谷神社** 神社

日比谷神社は、古くから旧麹町区日比谷公園の大塚山という所に鎮座し、苦しむ旅人に無病息災の祈願、その効果があらわれ日比谷稲荷明神旅泊稲荷明神と称していました。関東大震災で新橋に遷座、鯖稲荷と呼ばれるようになりました。また、虫歯に苦しむ人が鯖を食べることを断ち祈誓をかけたそう、御礼に鯖を奉納したともいわれています。



高雄歌舞伎の名物、「白浪五人男」。子供たちだけの舞台に会場も大盛り上がりでした。

岐阜県郡上市を訪れ、平成の大合併で七町村がひとつになった郡上市の市長にお話を伺いました。

◆本日はお休みの土曜日にお時間をいただき、ありがとうございます。

郡上市長(以下 市長) いいえ、皆さんこそ、遠くまでようこそおいで下さいました。

◆取材日を今日(平成28年10月1日)にさせていただいたのは、今夜の口明方小学校体育館での高雄歌舞伎を拝見させていただくからなのですが、市長は出演されるのですか。

市長 いいえ、出ません。

◆地歌舞伎に出られて評判だったという話を伺ったものですか。

市長 そうですか(笑)。今年(平成28年)の気良歌舞伎に百姓役でちょっと出ただけです。



にこやかに対応をいただいた市長。笑顔が印象的でした。

◆そうでしたか。郡上では地歌舞伎、農村歌舞伎が盛んなのでしょうか。

市長 ええ、高雄歌舞伎は以前は市島歌舞伎と言っていましたが、その歴史は江戸時代に遡り、200年以上の歴史があります。

この高雄歌舞伎から、先ほどの明宝気良の気良歌舞伎も復興し、今は八幡嵐座という町屋歌舞伎も生まれました。

◆町屋歌舞伎ですか。

市長 ええ、これは八幡出身の嵐璃橘之丞という明治時代に関西歌舞伎で女形として活躍した役者がいて、その役者を偲んで生まれた歌舞伎です。

◆そうですか。今夜の高雄歌舞伎のプログラムを見ると、子供歌舞伎もありますね。

市長 ええ、「白浪五人男」を演じられますが、これは役者も三味線も義太夫も小中学生だけで演じますので、楽しみにして下さい。

◆小学校2年生など、小さい子供がたくさん出演されるのですね。

市長 はい、子供からご老人まで、地域の人たちがひとつになって舞台を作ります。学校の先生も出演しますし、舞台上に立たないお母さん方も小さい子役の世話や裏方で大忙し、そしておじいちゃんはおひねりの投げ役と、本当に大人も子供も一緒になっての大イベントです。

◆そうですか、今の都会では考えられないですね。

市長 平成22年に赤坂の総合庁舎で高雄歌舞伎が「一力茶屋」を演じたことがあります、大変喜んでもらえたようです。

◆歌舞伎は舞台の大道具、小道具、そして衣装や化粧と大変だと思いませんか。

市長 はい、ですから、県内外を問わず、色々お手伝いをいただきた歴史があります。

◆徹夜で踊る郡上おどりもそうですが、何をやるにも徹底してやる、ここ郡上にはそうした気質が脈々と流れている気がします。

市長 確かに郡上の歴史や名物を訪ねると、江戸時代の郡上一揆に始まって、維新の時の凌霜隊、そして今も続く徹夜おどりと、やると決めたらとことんやり抜く風土はあるかもしれません。

◆この「青山」でも郡上おどりは何度か取材させていただいていますが、市長も踊られますか。

市長 ええ、大好きですよ。私は八幡と白鳥の間にある大和という町の出身ですから、郡上おどりも白鳥おどりも両方踊ります。

◆郡上おどりと白鳥おどり、違うおどりなのですか。

市長 はい、郡上おどりは10曲、白鳥おどりは8曲ありますが、共通のおどりは「猫の子」の1曲。これも歌詞はほぼ一緒ですが、所作は異なりますから。

◆それぞれの特徴を教えてください。

市長 郡上おどりは町のおどりで優雅、西川流の振り付けが入っている踊り(「かわさき」)もあります。一方、白鳥おどりは在の踊り、野趣のあるテンポが速めのおどりですね。

◆市長もやはり子供のころからずっと踊られているのですか。

市長 私は郡上高校までは地元でしたが、その後、横須賀の防衛大学に半年、そして1年半後に京都大学へ入学、就職先は東京の自治省でした。ですから、上手く帰郷できた時に踊っていました。

◆そうですか。お聞きした経歴ですが、自治省から郡上市長に、ということなのでしょう。

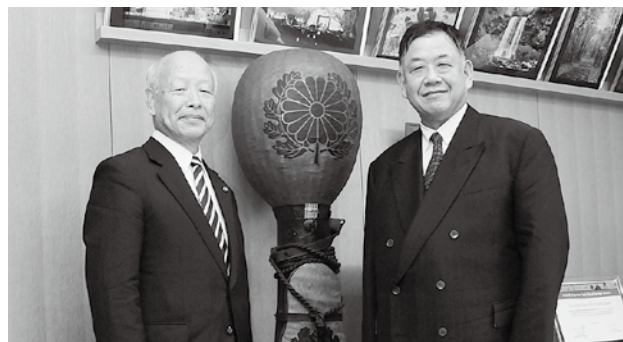
市長 いいえ、自治省から愛知県庁や群馬県庁勤務を経て、岐阜県庁に務め、そして県庁退職4年後に郡上市長にならせていただきました。

◆そうですか、地方行政の経験豊富な市長さんなのですね。最後になりますが、今年(平成28年)の市長選挙で3選されましたが、3期目の目標をお教え下さい。

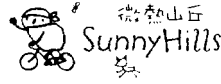
市長 平成の大合併で郡上も七町村が合併しましたが、地方交付税の減少緩和措置が平成30年で終わります。私の任期の1年前ですが、それまでに新しい財政規模での見通しを立て、それに合った組織体制強化や職員能力の向上が目標です。

◆梅窓院にとって、郡上は故郷のようなものです、市長のますますのご活躍を祈念しています。

本日はありがとうございました。



郡上青山家の家紋の入った「金の髻標」を挟んで 市長と中島住職。

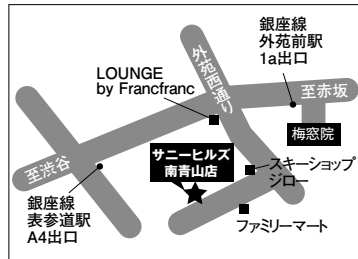


サニーヒルズ 南青山店

今回は台湾のお土産で有名なパイナップルケーキ専門店「サニーヒルズ南青山店」をご紹介します。

梅窓院から徒歩六分。南青山の裏通りでひととき目を惹くヒノキの角材で覆われた建物が南青山店です。そのユニークなデザインは梅窓院の設計でもお馴染みの隈研吾氏。ヒノキの角材を存分に活かすことで「素材にこだわりをもっている」サニーヒルズのコンセプトを表現しています。

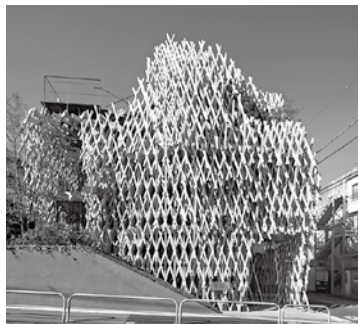
パイナップルケーキの特徴はこだわりの無添加素材、餡は100%パイ



営業時間 / 11:00~19:00  
 定休日 / 無休  
 住所 / 東京都港区南青山3-10-20  
 TEL / 03-3408-7778



生地の中にパイナップルの餡がぎゅっと詰まっています。食べ応えがあります。



ほのかなヒノキの香りとともに、木材の隙間から入る太陽の光が暖かみのある空間です。

ナップルで、甘酸っぱさや繊維の食感まで楽しめます。生地も国産の小麦粉や、フランス産最高級のエシレバター、モーツァルトを聴かせて育てた鶏の卵と、それぞれの素材を活かした濃厚な味わいで、豊かな風味が口いっぱいに広がり、ひとつで十分に心もお腹も満たされるケーキです。

嬉しい事に、二階の売り場前のテーブルでパイナップルケーキとお茶を無料でもてなしてくれます。ぜひ、ユニークな建物に足を延ばし、ヒノキの温もりを感じながら素材の味にこだわったパイナップルケーキをお土産にしてはいかがでしょうか。

青山俳壇

選者「ウェブ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○ 寝たきりの母の手ぬくし貴船菊

◎入選

○ 焼秋刀魚みぞれ醤油で食うべけり

○ 秋雨や笑顔やさしく従姉逝く

○ 寄り道の本屋に長居秋の暮

○ 一枚は刈られる前や鳥威し

○ 敗荷や夕日は雲に遮ぎられ

○ 物置のトタン崩える草の花

○ 東京の秋の空ゆく飛行船

○ がさがさとめくる新聞鴨のこゑ

○ 駅前空地に蛇口赤のまま

◎選者詠

○ ダンプカー空荷でゆけり草の花

○ ワンポイントアドバイス

仏教に「色即是空、空即是色」という言葉があります。「存在はすなわち無、無はすなわち存在」ともいえるのでしょうか。俳句を詠むときには、そんな認識なり心持ちをもって自然に向き合うことも大切なような気がします。

大崎 紀夫

投句募集

今回は「冬の季語」でご自由にお詠み下さい。1月4日(水)を締切、平成29年3月発送の「春彼岸号」にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38  
 梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウェブ編集室  
 電話03-5368-1870

第六十五回  
 食は命  
 武鈴子 食養研究家

「塩梅よく」  
 明るい新年を!

お正月の三が日、京都の六波羅蜜寺では初詣の参拝者に「皇服茶」を提供しているとか。皇服茶というのは、若水(元旦の朝に初めて汲む水)で沸かした煎茶の中に結び昆布と梅干を入れたもの。そもそも平安時代、京都に疫病が流行した折、同寺の開祖・空也上人が薬茶をふるまったことに始まるといい、村上天皇の宿酔(二日酔い)がたちまち癒えたという伝説からの名称。のちに「大福茶」と呼ばれるようになりました。

梅と昆布は「五行説」では、酸味の梅は肝臓の働きを補い、塩から味の昆布は腎臓の働きを、そして苦味の煎茶は心臓の働きを補うと教えています。村上天皇のお具合が皇服茶でよくなったというのもうなずけます。

大晦日と節分の夜、「福茶」を飲んで越年を祝う習慣が一般には近年までありました。福茶は梅干・昆布・炒り玄米・緑茶・山椒の実・黒豆などを混ぜたものです。薬膳からみると、梅干しが肝臓を、昆布が腎臓を、炒り玄米(甘味)は脾胃を、緑茶が心臓を、山椒の実(辛味)は肺の働きを補養して、みごとな「五味」の組み合わせで、先人の英知には驚かされるばかりです。

梅と塩は詰めると「塩梅」(あんばい)と読みます。料理では塩と酢でほどよく味加減することをいいますが、体の調子や物事の程度を表す時にも「いい塩梅」と使われたりします。どうぞ「塩梅よい新年」をお迎え下さいますように!

## 墓苑内のバリアフリー化 工事について

梅窓院墓苑ではバリアフリー化を進めておりますが現在も車椅子対応が困難な場所があります。

そこで墓地中央の参道を改修し(階段部分にスロープを併設)すべての墓所が車椅子でお参り可能とすることを目的とした工事を計画しています。

本工事の実施に際し中央階段付近で墓地をお使いの方には墓地の移転をお願いする場合がございます。

対象となる方には4月以降に個別にご連絡を差し上げます。

該当の方にはご迷惑をおかけしますが、高齢者に優しい墓苑環境の整備を目的としております。檀信徒の皆様のご理解・ご協力の程よろしく願います。

## お檀家さんに伺いました

平成28年秋彼岸法要にて

「梅窓院のおもてなしを感じました」

主人の月命日には必ずお墓参りにきています。本日は秋彼岸なので娘と一緒に参りました。おやきもいただきたいなと思ったのですが、完売だったのが残念でした。お呈茶をいただきましたが、なかなかいただく機会がないので貴重な経験ができて嬉しかったです。お茶は見た目も美しく、深く甘い味わいで美味しくいただくことができました。

こういう振る舞いに梅窓院のおもてなしが感じられて良かったです。

## 行事予定

### 第70回 念仏と法話の会

2月21日(火)

時間 11時30分～(受付11時より開始)

お齋/別時念仏会/法話/茶話会

法話 六道について

講師 群馬教区 長壽院 蟹和 秀顕上人

発行/梅窓院

発行日/平成29年1月1日

発行人/中島 真成

編集/青山文化村

住所/〒107-0062

東京都港区南青山2-26-38

電話/03-3404-8447

FAX/03-3404-8436

ホームページ/<http://www.baisouin.or.jp/>

E-Mail/[jodo@baisouin.or.jp](mailto:jodo@baisouin.or.jp)

題字/中村康隆元浄土門主  
総本山知恩院第八十六世門跡

## 梅窓院のお墓とペット供養の窓口

### 日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

当社で墓苑清掃業務を始めて1年が経ちました。春まではそれほどお問合せもなかったのですが、夏に向かい始めると雑草や樹木が生い茂り、「草は抜くから木を切って……」というご依頼や、「具合が悪くてお参りに行けない」と代参のお申込みが続きました。お檀家様の故人への想いをお届けできるよう、私たちも心を込めてお参りさせていただいております。

何かご希望ございましたら墓苑内のアンケートにご記入いただいても結構ですし、直接お声がけいただいても結構です。皆様のお声をお待ちしております。

平成29年

## 年間行事予定

◆修正会	1月1日(日)	
◆第70回 念仏と法話の会	2月21日(火)	
◆春彼岸会法要・寄席・物産展	3月20日(月)	
◆はなまつり	4月7日(金)～9日(日)	
◆団体参拝旅行 京都 清浄華院	5月 ※詳細は春彼岸号にてお知らせ致します。	
◆大施餓鬼会法要	5月20日(土)	
◆開山忌法要・能楽奉納	6月10日(土)	
◆第71回 念仏と法話の会	6月26日(月)	
◆盂蘭盆会法要	7月13日(木)	
◆秋彼岸会法要・寄席	9月23日(土)	
◆文化講演会	10月開催予定	
◆十夜法要・芋煮会	11月18日(土)	
◆M・ファン・デン・フック・ピアノリサイタル	11月開催予定	

※予定は変更になる場合がございます。ご了承下さい。

## 平成28年度 後期 仏教講座のご案内

全講座▶午後6時～8時 受講料▶無料 場所▶梅窓院祖師堂

講題/『無量寿経』を読む

講師/阿川 正真 先生(浄土寺住職、大正大学講師)

- 第2回…1月24日(火)「歎仏頌」を中心に  
※1月25日(水)から1月24日(火)に日程が変更になりました。
- 第3回…3月1日(水)「四十八願」を中心に



講題/大乘仏教を読む—『維摩経』シリーズ(4)—

講師/勝崎 裕彦 先生(大正大学前学長、香蓮寺住職)

- 第2回…1月19日(木) 香積品第十の教え
- 第3回…2月23日(木) 菩薩行品第十一の教え



講題/法然上人のみ教え—『選択集』を読む—

講師/林田 康順 先生(大正大学教授、大本山増上寺布教師、慶岸寺副住職)

- 第3回…3月27日(月)『選択集』第10章 阿弥陀仏による讃歎(下)



講題/死をふくむ幸福～豊かな「死の文化」の創造へ向けて～

講師/本林 靖久 先生(大谷大学、佛教大学講師、真宗大谷派僧侶)

- 第2回…2月3日(金) 極楽浄土はどこにあるか
- 第3回…3月24日(金) 理想的な死に方とは何か～終活を考える～



講題/法然上人ご法語を読む(2)—『念仏大意』—

講師/新井 俊定 先生(天然寺住職)

- 第3回…1月31日(火) 三心具足の念仏



※各講座第3回目の最終講座は、後半、茶話会となります。講師の先生方や受講生同士、この機会に交流を深めて下さい。